

ソフトバレーで 親睦を深める

6月4日(日)、町総合体育館において「第2回大崎町ソフトバレーボール大会」が開催されました。

本大会は、町民の豊かなスポーツライフの推進と健康増進の寄与および町民の親睦を図りながら軽スポーツの普及・発展を目的としています。

家族や職場仲間などで結成された男子混成の部6チーム、女子の部3チームが参加し、男子混成の部は「たくととパパたち」、女子の部は「HNN30」がそれぞれ優勝しました。競いながらも笑顔溢れるプレーが多く見られ、盛り上がりを見せていました。



大崎幼稚園に南極の氷のプレゼント

6月5日(月)、大崎幼稚園に南極の氷が届き、3～5歳児が触ったり、音を聞いたりしました。

これは、園児である竹元理紗さんの父親(海上自衛隊)が南極観測船「しらせ」に観測隊として乗船していたことがご縁で届きました。

園児は約3万年前の空気が閉じ込められた氷を触ったり、水に浮かべた氷の音を聞いたり、においを嗅いで「冷たい。つるつるする。パチパチと音がする」と目を輝かせていました。



南九州市商工会女性部が視察

6月3日(土)、南九州市商工会女性部の皆さん28名が、本町に視察研修に訪れました。

本町特産品の生産現場視察として安田農園(マンゴー)と鹿児島鰻(うなぎ)を見学し、大崎有機工場においてリサイクルの取り組みについての説明を受けました。

参加者の皆さんは「生産者の苦労や研究の経緯など貴重な話を聞くことができました」と話されました。

視察後は、ふれあい市場において町内産の農水産物や加工品などを両手いっぱい購入し、買い物を楽しんでいた様子でした。